

樋口理事長を再任

広運協

燃料・ETC 手数料を値下げ

広域運送事業協同組合(樋口恵一理事長)は20日、総会を開き、任期満了に伴う役員改選で樋口理事長(56、川崎陸送)の再任を決めた。また、新理事として永山浩二氏(福岡ロジテック)を選任。今年度は、

組合員事業者のコスト削減を進めて手数料を値下げするほか、初のエコドライブコンテストの開催を予定している。独自で配信しているメールマガジンの登録者数の増加に向け、キャンペーンも行う。

樋口氏が「全国の多くの協組は組合員が減って苦しんでいる中、広運協は増えている。組合員の経営あつてこそこの組合。今年はずますます軽油が値上がりして大変だが、手数料の引き下げなど提案していくので、積極的に利

用して欲しい」と挨拶。

事業計画は、協組の収支よりも組合員のコスト削減を優先することをコンセプトに策定した。燃料手数料1円当たり0・1円、ETC(自動料金收受システム)カード手数料1枚当たり21円をそれぞれ値下げする。また、首都・阪神高速道路における大口・多頻度割引の還元率も7・3%から7・5%にアップさせる。また、エコドライブの推進にも注力。初のエコドラ

イブコンテストを9月に予定する。加えて、独自に開発したシステム「エコドライブ記録システム」や、アプリ「日本縦断! エコトラベル」の利用促進も図っていく。メルマガは登録者数1千人を目指し、普及を進める。

総会後は、「トラックドライバーを守るか カンパニーをどう守るか」と題して、都立墨東病院の薬師寺史厚内科部長が講演を行った。(土屋太朗)